

宮城県業務説明会

森林

**Miyagi
Prefectural
Government**

森林職の仕事

林業・木材産業の振興、森林の整備・保全、
試験研究（木材・特用林産物・優良種苗など）、
環境緑化等

宮城県の森林・林業・木材産業が目指す姿

- ◆「木を使い、植え、育てる」循環の仕組みが定着し、旺盛な木材需要の下で県産材自給率が向上することにより、**県内林業・木材産業が活力あふれる循環型産業**として成長
- ◆水源の保全、県土保全や地球温暖化防止など森林の持つ多面的機能が発揮され、**県民が森や木を身近に感じながら安心して暮らせる宮城の実現**

配属先

本庁：林業振興課、森林整備課、自然保護課など

地方機関：地方振興事務所、林業技術総合センター

自己紹介 宮城県出身

H30.3月 **東北大学大学院修了**

H30.4月～ **大学で任期付き研究員**

R1.11月～ **水産林政部 森林整備課 県有林班**

県有林使用の許可・取得処分事務、みやぎ環境税で造成した県有林の保育事業
立木の売払い事業、造林資金の償還事務など

R5.4月～ **水産林政部 林業振興課 地域林業振興班**

森林資源情報を管理するシステムの運用業務、林地台帳の整備・精度向上への支援
森林経営計画の策定支援・補助金交付事務

志望動機

なぜ公務員だった？

学生時代の専攻（森林生態学）を生かせる仕事を探していたときに、林業技術総合センターを見学する機会があり、公務員の林業職という選択肢を知り、志望しました。

なんで宮城県庁を選んだ？

仕事をするなら地元宮城県が第一候補
市町村役場では林業職の募集はほぼない

これまでに担当した仕事

水産林政部 森林整備課 県有林班

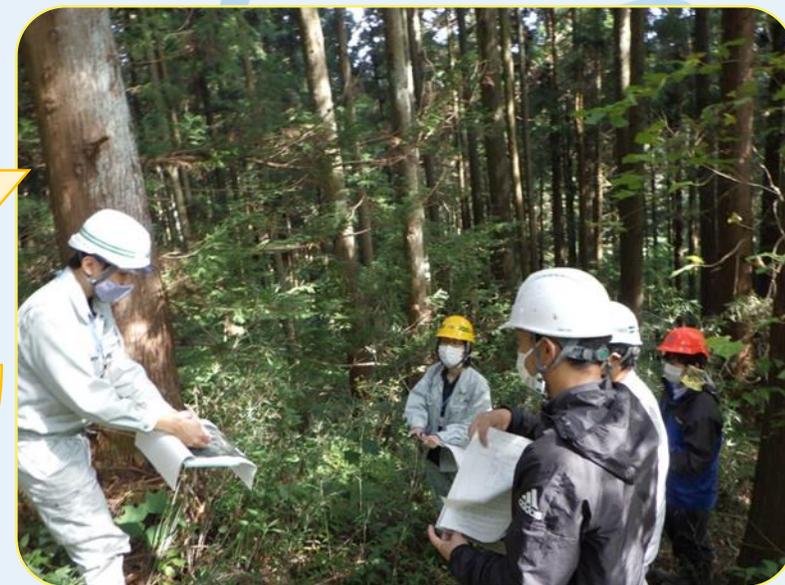
県内約1万2千haの所有山林を、自ら管理・経営を行ないます。

県土の保全、多面的機能の発揮



県有林を造成（この箇所はみやぎ環境税を活用）

自ら植え・育て



立木売払（この箇所は50年生のスギ人工林）
職員が立木を評価し、入札にかけます

立木を売払う
（収入を確保）

県産木材の安定供給

現在担当している仕事

水産林政部 林業振興課 地域林業振興班

森林計画制度によって、適切な森林施業を誘導します。

全国森林計画（国）

地域森林計画（県）

市町村森林整備計画（市町村）

森林経営計画（森林所有者等）

水質保全や水量の安定確保に必要な森林は、主伐の間隔を延ばそう

水源に近いあの森林は伐期を10年延ばそう！

この森林は伐期に達してないから、主伐は計画できないね



現在担当している仕事

水産林政部 林業振興課 地域林業振興班



県内の森林資源情報を管理するシステムを運用しています。資源情報をもとに地域森林計画を策定します。

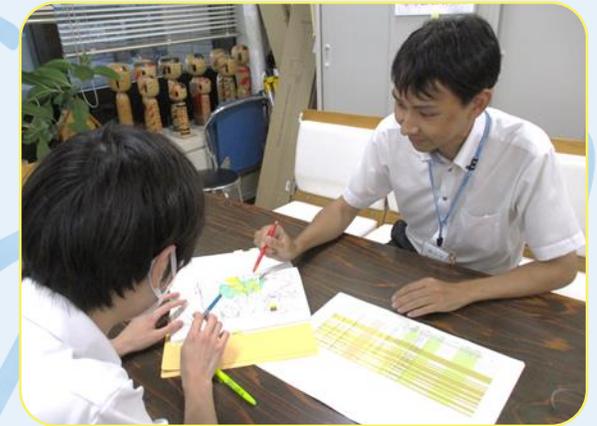
地域森林計画では、森林の多様な機能が十全に発揮されるよう、10年間の森林の整備・保全に関する目標・基準を示しています。

全国森林計画（国）

地域森林計画（県）

市町村森林整備計画（市町村）

森林経営計画(森林所有者等)



森林所有者等が立てる森林経営計画の作成を支援するとともに、計画認定の事務を行っています。

大変だったこと

令和元年東日本台風災害

入庁直前に被害があり、入庁して1週間経たずに県有林の被害調査に向かいました。



県有林林道



それまで、災害を「誰かに何とかしてもらわない」という遠い認識をしていましたが、公務員として「何とかする側」になり、気が引き締まった記憶があります。

やりがい、心掛けてのこと

当然、正直退屈な仕事もありますが…

幅広い業務がある森林職は、やりがいも様々

県有林は、自分たちで稼いで、自分たちで森を育てる！
自分の関わった山が将来どうなるのかワクワクです。

森林計画業務は、県の森林施業の根幹を成す部分！

制度を適切に運用していくのは、コツコツがんばる系のおもしろさがあります。
航空レーザ計測等の膨大なデータに触れる機会もこれからでてくるので、どう森林に活用していくか楽しみです。

ほかにも、治山・林道事業を経験した人は「俺の担当した現場！」と誇らしげにしていたり、
林業の普及指導や特用林産物（きのこ・山菜・苔など）の普及業務では、事業者や地域の方とコミュニケーションをとることも多く、そこもやりがいのひとつみたいです。

職場の雰囲気

森林職はちょっと狭い世界

3年前後で部署異動はあるものの、森林職の勤務先が限られるので、知り合いが多くなり、コミュニケーションがとりやすいです。

（私の初めての異動は、隣の課でした。）

所属の中でも同じ森林職員が多いので、困ったことがあっても、気軽に相談できます。

森林職の職員数

148人（男：112人、女：36人）



働いて感じる宮城県職員の魅力

宮城県の森林職員

東北の中で最も森林面積(41万ha)・森林率(57%)が低いですが…

- 人工林が本格的に利用期を迎えており、担い手確保や再造林推進の取組を進めています！
- 担い手確保・育成に向けて、「みやぎ森林・林業未来創造カレッジ」が令和4年4月に開校
- 石巻市に合板工場が3社あり、全国有数の合板生産量を誇ります！
- 震災で被害を受けた海岸防災林が令和2年度に全ての植栽完了！ 保育管理に向けた、プロジェクトを進めています

国家公務員と併願する人も多いですが、県職員はより近い距離感で地域と関わられます！

私の公務員試験対策

森林職公務員の専門試験対策の参考書はありません！

- 森林・林業白書（林野庁）
- ほか、森林・林業関係の書籍など

みなさんへのメッセージ

森林職は業務が多岐にわたるため、不安もあるかもしれませんが、仕事の中で個々の職員がそれぞれの得意な分野を見つけ、得意を活かして仕事をしています。

入庁後に自分に適性のある業務が見つけれられるはずなので、ぜひ宮城県の森林職を目指してもらえればと思います。